



江戸時代に建てられた武家屋敷



美しい砂浜



天女ヶ倉公園から見る島の風景



稲刈りの風景

01. 種子島

歴史と文化

人類は種子島を、約3万5千年前から棲み継いできた。南北60kmにも満たないこの島に、旧石器・縄文・弥生の文化が咲き誇り、今でも美しい水田地帯が広がっている。江戸時代には日本最南端の武家文化が栄え、その歴史を伝える武家屋敷の佇まいが今も残る。西洋人から初めて鉄砲が伝えられ、島の技術で国産銃が完成し、全国に広がっていった。そして今は、さとうきび畑の向こうから、世界の最先端の技術を駆使したロケットが夢を乗せて飛び立つ。

自然の恵み

なだらかな地形で豊かな漁場に囲まれたこの島は、年間の平均気温19°Cと温暖な気候で、農業や漁業といった第一次産業が盛んである。米や地野菜が豊富に育ち、パッションフルーツや安納芋など、旬の味覚を楽しめる。黒糖やさつまいもを利用したお菓子や焼酎、トビウオやきびなごなどの海産物の加工も盛んである。豊富な食材が身近にあり、ほとんどの食料が島内で賄え、種子島産の牛乳やバターまで揃う。

移住の島

種子島は古くより移住の島として知られている。地理的立地から、漂着船を受け入れる温厚で寛容な風土が備わっている。明治から昭和にかけて、甌島や桜島、遠くは関西や静岡からも多くの移住者を温かく迎え入れ、集落も新たに形成された。近年では、波を求めて沢山のサーファーが全国から移住し、都会では実現しにくいライフスタイルを送っている。そして、地域社会を支え、種子島の発展にも貢献している。



観光スポット

- 浦田海水浴場
- 板敷鼻
- へゴ自生群落
- 西之表港
- 鉄砲館
- 月窓亭
- 天女ヶ倉公園展望所
- 能野海水浴場
- 鉄浜海岸
- アコウのアーチ
- 種子島空港
- 男淵・女淵の滝
- 馬立の岩屋
- 長浜海岸
- 島間港
- 古市家住宅
- 熊野海水浴場
- 千座の岩屋
- 種子島マングローブパーク
- JAXA 種子島宇宙センター
- 七色観望所
- 門倉岬